

大橋川出張所便り

平成22年9月21日 第11号

●宍道湖・大橋川・中海は水鳥の楽園

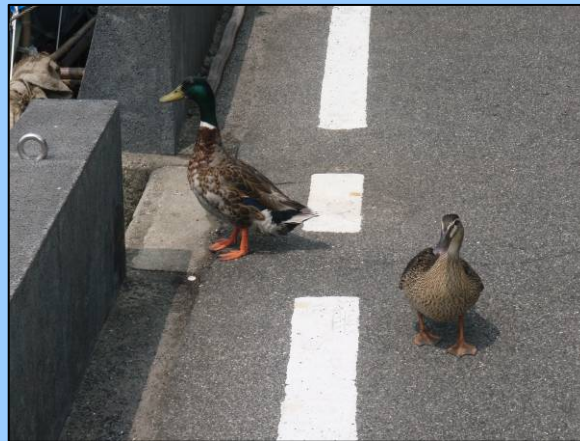
宍道湖・大橋川・中海には、例年9月の終わり頃からいろいろな種類の渡鳥が飛来し、冬場には何万羽もの水鳥を観察することができます（宍道湖と中海は『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（通称、ラムサール条約）』に登録されています。）

しかし、水鳥が観察できるのは冬場だけではありません。夏場でも、たくさんの水鳥を観察することができます。今年の夏に撮影した水鳥のようすを紹介します。



【コブハクチョウ(宍道湖)】

宍道湖北岸で撮影。5羽でいるところをよく見かけます。宍道湖に住みついてしまったようです。



【カルガモ(大橋川)】

松江新大橋付近で撮影。人に慣れていて、近寄っても逃げません。



【サギ(大橋川)】

大橋川出張所の前で撮影。量水標がお気に入り、留まっているところを度々見かけます。

～担当者からひとこと～

これから渡鳥が飛来するシーズンに向かえ、ますますたくさんの水鳥が観察できるようになりますので、ぜひ水辺に足を運んで観察してみてください。